

(お知らせ)

定期検査中の福島第一原子力発電所5号機圧力抑制室内における
座金付きボルト・ナットの発見および回収について

平成20年2月14日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

当所5号機（沸騰水型、定格出力78万4千キロワット）につきましては、平成20年1月20日より第22回定期検査を実施しておりますが、圧力抑制プール内のクラッド（鉄さび等の金属不純物）回収作業後の確認作業を実施していた協力企業作業員が、2月13日午後6時10分頃、同プール内で座金付きのボルト・ナット1組（長さ約8cm×直径約1.5cm）を発見し、回収いたしました。

現場を調査したところ、当該ボルト・ナットは圧力抑制室出入口部の外側に保護カバーを取り付けるための座金付きボルト・ナットであり、員数管理の対象外のものであることがわかりました。

当該ボルト・ナットが落下した原因は、前回定期検査時に保護カバーを取り外した際に圧力抑制室出入口部から圧力抑制プール内に落下したものと推定いたしました。

対策として、当該保護カバーの座金付きボルト・ナットについては、今後、員数管理を行うことといたします。

以上